

【学びの履歴】各教科

特別支援学校小学部・中学部学習指導要領(H29) P160～168参照		
中学部【音楽】目標		
表現及び鑑賞の活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに興味や関心をもって関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。		
知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性等
(1) 曲名や曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、表したい音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。	(2) 音楽表現を考えることや、曲や演奏のよさなどを見いだしながら、音や音楽を味わって聴くことができるようにする。	(3) 進んで音や音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じるとともに、様々な音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。
【1段階】		
知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性等
ア 曲名や曲の雰囲気と音楽の構造などとの関わりについて気付くとともに、音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、音楽づくり、身体表現の技能を身に付けるようにする。	イ 音楽表現を考えて表したい思いや意図をもつことや、音や音楽を味わいながら聴くことができるようにする。	ウ 進んで音や音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、様々な音楽に触れるとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。
【2段階】		
知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性等
ア 曲名や曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、表したい音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、音楽づくり、身体表現の技能を身に付けるようにする。	イ 音楽表現を考えて表したい思いや意図をもつことや、曲や演奏のよさを見いだしながら、音や音楽を味わって聴くことができるようにする。	ウ 主体的に楽しく音や音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを味わいながら、様々な音楽に親しむとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。

■ 特別支援学校小学部・中学部学習指導要領(H29)に示される各教科の「目標」に照らして、その「内容」の習得状況を記入する。

○:学習した内容 ◎:学習した内容をおおむね習得している

- * まだ学習していない内容については、空欄にする。
- * 中学部2段階の内容を習得し、目標を達成して小・中学校学習指導要領の内容を発展的に取り扱っている場合は、別紙様式に記入する。
- * 中学部の段階の指導が難しい場合は、小学部の目標や内容を参考にする。しかしながら、教科の名称までを替えることはできないことに留意する。

【学びの履歴】各教科

特別支援学校小学部・中学部学習指導要領(H29) P160～168参照

中学部【音楽】 1段階

目標

知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性等			
ア 曲名や曲の雰囲気と音楽の構造などとの関わりについて気付くとともに、音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、音楽づくり、身体表現の技能を身に付けるようにする。	イ 音楽表現を考えて表したい思いや意図をもつことや、音や音楽を味わいながら聴くことができるようになる。	ウ 進んで音や音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、様々な音楽に触れるとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。			
内容			1学年	2学年	3学年
A 表現	ア 歌唱の活動 (ア)歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲の雰囲気に合いそうな表現を工夫し、歌唱表現に対する思いや意図をもつこと。 (イ)次の⑦及び⑧について気付くこと。 ⑦ 曲名や曲の雰囲気と音楽の構造との関わり ⑧ 曲想と歌詞の表す情景やイメージとの関わり (ウ)思いや意図にふさわしい歌い方で歌うために必要な次の⑦から⑨までの技能を身に付けること。 ⑦ 範唱を聴いて歌ったり、歌詞を見て歌ったりする技能 ⑧ 発声の仕方に気を付けて歌う技能 ⑨ 友達の歌声や伴奏を聴いて声を合わせて歌う技能				
	イ 器楽の活動 (ア)器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲の雰囲気に合いそうな表現を工夫し、器楽表現に対する思いや意図をもつこと。 (イ)次の⑦及び⑧について気付くこと。 ⑦ 曲の雰囲気と音楽の構造との関わり ⑧ 楽器の音色と全体の響きとの関わり (ウ)思いや意図にふさわしい表現をするために必要な次の⑦から⑨までの技能を身に付けること。 ⑦ 簡単な楽譜を見てリズムや速度を意識して演奏する技能 ⑧ 音色や響きに気を付けて、打楽器や旋律楽器を使って演奏する技能 ⑨ 友達の楽器の音や伴奏を聴いて、音を合わせて演奏する技能				
	ウ 音楽づくりの活動 (ア)音楽づくりに関する知識や技能を得たり生かしたりしながら、次の⑦及び⑧をできるようにすること。 ⑦ 音遊びを通して、どのように音楽をつくるのかについて発想を得ること。 ⑧ 音を音楽へと構成することについて思いや意図をもつこと。 (イ)次の⑦及び⑧について、それらが生み出す面白さなどに関わらせて気付くこと。 ⑦ いろいろな音の響きの特徴 ⑧ リズム・パターンや短い旋律のつなげ方の特徴 (ウ)発想を生かした表現、思いや意図に合った表現をするために必要な次の⑦及び⑧の技能を身に付けること。 ⑦ 設定した条件に基づいて、音を選択したり組み合わせたりして表現する技能 ⑧ 音楽の仕組みを生かして、簡単な音楽をつくる技能				
	エ 身体表現の活動 (ア)身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、リズムの特徴や曲の雰囲気を感知取り、体を動かすことについての思いや意図をもつこと。 (イ)次の⑦及び⑧の関わりについて気付くこと。 ⑦ 曲の雰囲気と音楽の構造との関わり ⑧ 曲名や歌詞と体の動きとの関わり (ウ)思いや意図にふさわしい動きで表現するために必要な次の⑦から⑨までの技能を身に付けること。 ⑦ 示範を見て体を動かしたり、曲の速度やリズム、曲の雰囲気に合わせて身体表現したりする技能 ⑧ 音や音楽を聴いて、様々な動きを組み合わせる技能 ⑨ 友達と動きを合わせて表現する技能				
B 鑑賞	ア 鑑賞の活動 (ア)鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏のよさなどを見いだして聴くこと。 (イ)曲想とリズムや速度、旋律の特徴との関わりについて分かること。				
[共通事項]	(1) 「A表現」及び「B鑑賞」の関わりについて考えること。 ア 音楽を形づくっている要素を聞き取り、それらの動きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聞き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考えること。 イ 音楽を形づくっている要素及びそれらに関わる音符、休符、記号や用語について、音楽における動きと関わらせて理解すること。				

【学びの履歴】各教科

特別支援学校小学部・中学部学習指導要領(H29) P160～168参照

中学部【音楽】 2段階

目標

知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性等
ア 曲名や曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、表したい音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、音楽づくり、身体表現の技能を身に付けるようにする。	イ 音楽表現を考えて表したい思いや意図をもつことや、曲や演奏のよさを見いだしながら、音や音楽を味わって聴くことができるようにする。	ウ 主体的に楽しく音や音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを味わいながら、様々な音楽に親しむとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。

内容

		1学年	2学年	3学年
A 表現	ア 歌唱の活動 (ア)歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、歌唱表現に対する思いや意図をもつこと。 (イ)次の⑦及び⑧について理解すること。 ⑦ 曲名や曲想と音楽の構造との関わり ⑧ 曲想と歌詞の表す情景やイメージとの関わり (ウ)思いや意図にふさわしい歌い方で歌うために必要な次の⑦から⑨までの技能を身に付けること。 ⑦ 歌詞やリズム、音の高さ等を意識して歌う技能 ⑧ 呼吸及び発音の仕方に気を付けて歌う技能 ⑨ 独唱と、斉唱及び簡単な輪唱などをする技能			
	イ 器楽の活動 (ア)器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲想にふさわしい表現を工夫し、器楽表現に対する思いや意図をもつこと。 (イ)次の⑦及び⑧について理解すること。 ⑦ 曲想と音楽の構造との関わり ⑧ 多様な楽器の音色と全体の響きとの関わり (ウ)思いや意図にふさわしい表現をするために必要な次の⑦から⑨までの技能を身に付けること。 ⑦ 簡単な楽譜を見てリズムや速度、音色などを意識して、演奏する技能 ⑧ 打楽器や旋律楽器の基本的な扱いを意識して、音色や響きに気を付けて演奏する技能 ⑨ 友達の楽器の音や伴奏を聴いて、リズムや速度を合わせて演奏する技能			
	ウ 音楽づくりの活動 (ア)音楽づくりについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、次の⑦及び⑧をできるようにすること。 ⑦ 即興的に表現することを通して、音楽づくりの発想を得ること。 ⑧ 音を音楽へと構成することについて思いや意図をもつこと。 (イ)次の⑦及び⑧について、それらが生み出す面白さなどに関わらせて理解すること。 ⑦ いろいろな音の響きやその組み合わせの特徴 ⑧ リズム・パターンや短い旋律のつながり方や重ね方の特徴 (ウ)発想を生かした表現、思いや意図に合った表現をするために必要な次の⑦及び⑧の技能を身に付けること。 ⑦ 設定した条件に基づいて、即興的に音を選択したり組み合わせたりして表現する技能 ⑧ 音楽の仕組みを生かして、音楽をつくる技能			
	エ 身体表現の活動 (ア)身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、リズムの特徴や曲想を感じ取り、体を動かすことについて思いや意図をもつこと。 (イ)次の⑦及び⑧の関わりについて理解すること。 ⑦ 曲想と音楽の構造との関わり ⑧ 曲名や歌詞と体の動きとの関わり (ウ)思いや意図にふさわしい動きで表現するために必要な次の⑦から⑨までの技能を身に付けること。 ⑦ 示範を見て表現したり、曲の速度やリズム、曲想に合わせて表現したりする技能 ⑧ 音や音楽を聴いて、様々な動きを組み合わせるまとまりのある表現をする技能 ⑨ 友達と動きを相談して、合わせて表現する技能			
B 鑑賞	ア 鑑賞の活動 (ア)鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴くこと。 (イ)曲想と音楽の構造等との関わりについて理解すること。			
[共通事項]	(1) 「A表現」及び「B鑑賞」 ア 音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの動きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考えること。 イ 音楽を形づくっている要素及びそれらに関わる音符、休符、記号や用語について、音楽における働きと関わらせて理解すること。			